

第74号

平成17年2月23日

高二D 西尾 祐亮

高一D 進藤 剛至

読書三昧

甲南中学・高校
図書館
図書委員会

芦屋市山手町

31番3号

今年度初発行「読書三昧」

活動報告 灘校との交流会

灘甲戦の行われている中、静かに行われた両校の図書委員による交流会の感想を部外者ながら書かせて頂きます。さて、高校生の方は何やら穏やかながらレベルの高い話をしてはいる様でしたが、中学生の方は互いの図書館本について、そして、

本の面白さ
中三C 難波将広

時々大きく本の話題から反れながらも図書委員としての活動について様々なことを語り合いました。とりあえず簡潔に書かせてもらいます。

よく本を読む人も読まない人も、本をどの様に識別していますか？ 大多数の人はマンガ、面白そうな本、文字だらけの難しいような本、というふうに三つに識別されると思

今年度の図書委員の活動

- 四月 中二〜高三までの図書委員が決定
灘校との図書委員交流会
- 六月 神戸女学院との図書委員交流会
高一版Library News発行
- 七月 読書週間での本の紹介展示
Library News発行
- 十一月 図書委員選定図書 店頭引抜
Library News発行予定
- 二月 読書三昧発行
Library News発行予定
- 三月 Library News発行予定

「その他に日常事務として書架整理を行う」

図書委員の風が吹く

いますが、灘には一部の歴史マンガを除いてマンガといえるものは存在せず、面白そうな本といえる雑誌も同様に存在しない。ライトノベル(ジュニア小説)や話題書も少ししか置かれていない。最近になってライトノベルと話題書の数は増えてきているらしいのですが、それでもまだ寂しく、文字だらけの難しいような本が大半を占めていて、図書館の利用者も少ないそうです。ライトノベルや話題書といったものはどの様な楽しみがあるのでしょうか？ 甲南の図書館は、数多くのライトノベルや話題書を、リクエス(予約)といった形などで取り入れられていて、図書館を利用する大多数の人は、これを好んで利用しています。利用者も多く、一月に一度は誰もが足を運んでいるように思われます。

文字だらけの本より面白そうな本、そして面白そうな本よりマンガ、といったように人は自分の興味を注がれるような情報や物語に惹かれるものです。最近本が売れなくなっている理由も、ここにあるのではないのでしょうか？ 本を読むという事に楽しさや興味、関心を持たなければ本を読む意味は無いのではないのでしょうか？

図書館という機関や図書委員の本当の仕事は、それぞれの様に様々な興味関心、楽しさを本を読む事で深め、率先して何かを知ろうという事を行っていくように、手助けする事でないか？ 今回の交流会で部外者ながらそういった事を考えさせて頂きました。駄文ながら読んで頂ければ幸いです。



数学科 村上先生にインタビュー

数学科の村上先生に図書館やこの頃の出来事についてインタビューをしました。

Q: 図書館はよく利用しますか?

A: 図書館はあまり利用しませんね。雑誌でAERAや文藝春秋とかで面白いネタがあれば利用するくらいで、殆ど利用しないですね。基本的に経済や政治の話が好きなので、気に入ったら買う程度ですね。

Q: その中で特に目に留まっていますか?

A: 僕が読んでいる本はパソコンの本が、数学の本が、経済の本だからね。でも経済の本はちょっと難しいから、今、薦め

られる本はあまりありません。まあ読書一昧ではなくて、経済の本一冊と僕が高校の時に生徒の間ではやった政治の本を君たちには難しいと思いますが、一応「高校生のための読書ガイド」で推薦しています。

Q: 阪神大震災から十年最近インド、スリランカ辺りで起っている津波や、新潟県の震災など災害の多い世の中でありますがそのことについてどう思いますか?

A: まず「気の毒だな」とか「大変だな」と。インドやタイのニュースなんかを見ると「凄まじい地震だな」とか「気の毒だな」と思います。子供で親を亡くした人などが痛みますね。僕が関西に住みだしたのも震災から二年後くらいだから、だいたい新地になった後の関西に来ました。この前の式典で見て、写真とか映像で見ると、凄まじく、地震に遭われた人たちは「本当に大変だったんだな」と、そう思います。

Q: 九州出身だと聞きますけど「ちちの地域」移ったきつかけは?

A: 大学は熊本で、大学院が関西、だつたので関西に縁がありました。大学院の急須西に住んで、集のプリントがあつたのでそれに応募したら採用されました。

Q: 教師を始めたくはなかったか?

A: まあ正直、大学生の時はなにかやりたいというのが決まっていなくて、就職しようとか、公務員になろうとか、教師になろうとか、何でも良かった。フリーターならフリーターでも良かったです。本

当にやりたい事が見つかるまではフリーターでもいいと思っていなくて、たまたま塾で教えていて、わかるまで居残り

で勉強させてわからせる快感っていうのがたまらなかつたので、少なくとも教えるのは嫌じゃな

いかなと思って、甲南教師数学募集があつたから応募したら採用されたっていうことです。

Q: 家庭教師とか塾の先生とかそういう経験はしませんでしたか?

A: 大学時代は弁当屋で三年間バイトやって、残り一年は居酒屋でバイトをやつて、大学四年間は教育とまったく関係がなかつたです。大学院に入つて時間無かつたので塾の講師の募集があつたのでそこで始めて分がらせる面白さを知りました。家庭教師はやっていません。

知識を活かして「生きていく」という感じです。中学以降はテスト前のさまじいの練習だけです。今は漢字を素直で覚えていくから、いざ書けといわれたら書けない事がよくあります。実習数学の授業でも漢字を書けなくて恥をかく事がよくあるので、急遽ひらがなで書き直すという事がよくあります。やっぱりパソコンに頼り過ぎるというのは問題かなと思います。

Q: 最近携帯電話やパソコンが便利でみんな使っているんですけども、逆にパソコンなどにある変換機能に頼りすぎて漢字などが書けない人が増えている事に関してどう思いますか?

A: まあさくそこのとおりだと思います。僕が一生懸命漢字を勉強したのは、小学校を卒業するくらい迄で、漢字ドリルを何度もやり直して覚えて、今はその

きまず。国語が伸びるのは、読んで調べて無理矢理自分で使う、この流れだと思えます。そういった漢字や国語の力が一番伸びるかなと思いますね。

Q: 昔は熱血授業といわれていましたが、この頃は「げんこつ」などということをするのが少なくなつて、あまり生徒に對して怒るという事が少なくなつてきたのはなぜですか?

A: まあ君たちが大人になつていっているという証拠で、サラリーマンの上司が新入社員に對して、げんこつして怒るという事はしなれないと思います。その感覚ですね。もつと高校生になると大人にな

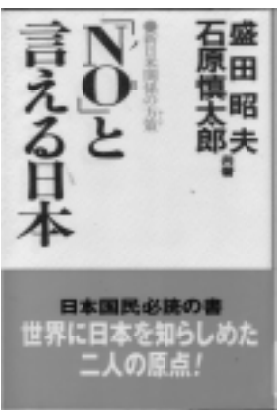
つたり、そつ

て考えながら読んでいます。「これはこういう意味なのか」という読み方をしないと、パソコンや数学の本も理解できません。主語・目的語・述語を大事にする国語の読解力というのも大事だと思います。

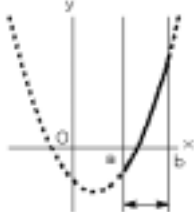
Q: 昔は熱血授業といわれていましたが、この頃は「げんこつ」などという

ことをするのが少なくなつて、あまり生徒に對して怒るという事が少なくなつてきたのはなぜですか?

A: まあ君たちが大人になつていっているという証拠で、サラリーマンの上司が新入社員に對して、げんこつして怒るという事はしなれないと思います。その感覚ですね。もつと高校生になると大人にな



「NO」と言える日本 光文社
石原慎太郎・盛田昭夫 共著 (304)



村上 仙瑞先生

いうことをしないで、言葉で分かっていかないと困ると思つてはならないです。あまりにも酷いと「げんこつ」はするけれども、それ以外はする気がしないですね。大人が叱る時には「げんこつ」や「はいたりはしないでしょっ」
どうも有り難うございました。

以上で村上先生へのインタビューを終わらせて頂きます。
私が思うに、それはクラシック音楽に対して真面目に聞かなくてはならぬいや、それよりもクラシック音楽は難しい音楽だ、聴き方に決まりがある、という先入観を持っていくことが原因ではないだろうか。確かに、クラシック音楽は何れの曲も一定の形式を踏まえて作られており、その形式、その形式の中でのように旋律(あるいは主題)が展開されているのか、ということを取ること、それが大切である。しかし、その形式として、非常に複雑なものから極めて簡単なものまでたくさんある。そんなに身構えなくても

読書紹介
「はじめてのクラシック」
(講談社現代新書) 黒田恭

クラシック音楽をよく聴き、自分でピアノや音楽を習っている私に対して、少なからぬ級友たちから、音楽の質問を受ける。そのような質問に答えながら、クラシック音楽が多くの人に膾炙してないことが、今更ながらによく分かった。これは何故だろう。
私が思うに、それはクラシック音楽に対して真面目に聞かなくてはならぬいや、それよりもクラシック音楽は難しい音楽だ、聴き方に決まりがある、という先入観を持っていくことが原因ではないだろうか。確かに、クラシック音楽は何れの曲も一定の形式を踏まえて作られており、その形式、その形式の中でのように旋律(あるいは主題)が展開されているのか、ということを取ること、それが大切である。しかし、その形式として、非常に複雑なものから極めて簡単なものまでたくさんある。そんなに身構えなくても

より大事なものは、自分の好みに忠実に聴くことである。音楽に限らず、芸術で一番いけないのは、回りの(100人か名曲だ、と言つので、自分もその曲を無理に名曲だと思ひ込んでしまつて、皆は名曲だと言つが、自分はずっぽりわからん、それでいいのだ。お前は分からん奴だと笑われるかもしれないが、そのような人間は笑われておけばいい。その人は、音楽や芸術の本当の意味を知らないからそんなことを言つのだ。分からない曲は聴く必要が無い。そのうちに聴けばよい。また、繰り返し聴くことによつてその曲に親しんでゆく場合もある。(本書第八章「損をしないディスク選び、または、名曲・名演・名盤の『名』にまどわされない賢明なききてへの道」の内容)
もう一つ、クラシック音楽が敬遠される理由がある。大半の曲はポピュラー音楽よりも圧倒的に長いことだ。ポピュラー音楽では自分を越える曲は長い曲にならざるを得ないが、クラシック音楽では自分を越える曲はさらにある。劇のついで、視覚を伴つた音楽を除いて、私が知っているのもっとも長い曲は三時間かかる(パッハ「マタイ受難曲」)。しかし、もちろんそんな曲は一続きになつてゐるわけではない。いくつかの部分に分かれてゐる。作曲した人は、全てを通じて聴くことを望んでゐたろうが、別に通して聴く必要は全く無い。好きな所だけ聴けばよいのだ。特に今はCDという便利なものがあるのだから、(本書第一章「シンフォニーはフルコースのディナー、または、つまみずきのすすめ」の内容)
もう一つは、大半の曲に題が付いていないことだ。例えばモーツァルトの有名な交響曲第四番ト短調、メロイイを聴けば、恐らく十人のうち八人まではどこかで聴いたことがあるはずだ。黒田恭一氏はこれをこの本の中で次のように説明している。

「交響曲とか、協奏曲あるいはソナタといったような楽譜で演奏される音楽は、もともと、ことばでは伝えられないものを伝えよつとしてゐる。そのような音楽に、もしかりに『悲しみのシンフォニー』とか、あるいは『喜びのコンチエルト』といったようなタイトルをつけてしまつて、ききでは、どうしたつてその『悲しみの』とか『喜びの』といったことばにははられたらきては、そのシンフォニーの響きに『悲しみ』を探し、そのコンチエルトの首のつらなりに『喜び』を求めらる。
そのようになつてしまつては、本来が抽象的なところどころまるべき音楽のたのしみから逸脱する。ベートーヴェンモーツァルトも、その他の作曲家たちも、そのなることをきらつた。その結果、多くの作風が住所をふりあてられることとなり、名無しの権兵衛のまま放置された。」(本書30)
要するに、言葉によつて音楽の内容に先入観を持たないよう、作曲家たちが

は作品に題をつけなかったのだ。
それ以外にも、この本には、クラシック音楽に親しむの方法から、正しい鑑賞法などが、内容豊富なたとえ話とともに書かれてゐます。クラシック音楽を聴いてみたいと思つ人、あるいは何を聴いたらいいかわからない人は是非読んでみて下さい。難しい専門用語はほとんど出てきません。(小原裕之)

世に「ハムレット型」(あれこれと曲案にふけてゐるばかりで、行動的でない性格・三番屋「新明解国語辞典」より)、「ドンキホーテ型」(空想的・むつぼうで正義感が徒らに強くて行動的な性格・向)といわれるほど、シェイクスピアの戯曲「ハムレット」は知られてゐる。しかし、実際にこの作品を読んでみると、ハムレット(デนมーク王子)はそんなに英雄的な人物でもなく、密かに亡き父王(劇中

は作品に題をつけなかったのだ。
それ以外にも、この本には、クラシック音楽に親しむの方法から、正しい鑑賞法などが、内容豊富なたとえ話とともに書かれてゐます。クラシック音楽を聴いてみたいと思つ人、あるいは何を聴いたらいいかわからない人は是非読んでみて下さい。難しい専門用語はほとんど出てきません。(小原裕之)

は霊となつてハムレットの前に立つ)の仇、叔父(父の弟)クロウディアスを狙つ行動的な王子である。
この作品は、あらずじを述べると、兄である先王を暗殺したクロウディアスが、更に兄の妃カートルドと再婚し、王座に就く。叔父が自分の父を暗殺したとは知らぬハムレットは、ある夜、腹心の家臣ハーンナド、マセラスや、友人のホレイシヨールとともに、エルシノア城内に現れた父王の

戯曲「ハムレット」(新潮文庫)
ウィリアム・シェイクスピア



760.4 K

亡霊に出会う。亡霊はそこで自らが弟のクロトーアスに暗殺されたいきさつを述べ、ハムレットに敵討ちを命じる。ハムレットは事態を知り、密かに叔父の暗殺の機会を狙い、その場包丁を刺す。オフィーリアの父で宰相のポロニアスを殺してしまふ。それが原因で美女オフィーリアは発狂し、最後は川に誤って落ちて命を落とす(このオフィーリアの死の場面は、何人かの画家が絵画の題材としている)。結局紆余曲折を経て敵討ちはなるが、その戦いの中で劇朝はハムレット自身も命を落として幕となる。

この作品は、先王の亡霊が、自らの敵討ちをハムレットに命じ、そのためにも多くの血が流され、最後にはクロトーアスを始めとする主要登場人物はみな死んでしまふ。考えてみれば、暗殺された先王も、全く酷な魚の遺産を残して逝つたものだ。

しかし、この作品はそれ以前に、戯曲としてきわめて高い完成度を誇っている。劇的な内容は読者(あるいは観客)の目を捕えて離さない。「ながららつべきか、死ぬべきか To be or not to be」を始めとする名台詞もたくさんある。実際、構成や展開の面で優れた戯曲なのである。その展開はシェイクスピアの他の戯曲、例えば非常に展開の早い「マクベス」や、あるいは「オセロ」、「リア王」にも決して引けを取らない。

先ほども述べたが従来ハムレットは酷な魚の遺産を残され、その遺言を実行したくない優秀で、父王に対する義理から殺人を行う夢想的人物と解釈されてきた。しかし、この作品を実際に読んでみると、そのような優柔不断な部分はず見出せない。むしろ、発狂を装つて周囲をだま騙し、敵討ちの機会を狙う様は、こつこつ狡猾である。そして、かつての字友を騙して殺させ、最終的に敵を討つのである。更に、父の死後、弟の下に走つたガートルードが最終的に改心する件は、無情という他ない。

とにかく、非常に文学的に優れた作品なので、一読をお薦めします。



(小原裕之)

読書紹介

キャプテンブルーベアの13と2分の1の人生

全部で上中下の3冊で出来ている本です。内容は主人公のブルーベアが一生で全く違う生き方を27回しまさすしてこの本ではその中の13と2分の1の生き方を紹介します。この本の特徴は1話1話が全く違う話なので飽きないところです。この本はおもしろいのでぜひ読んでみてください。

(福井文)

多面体の折り紙

「多面体の折り紙」という本は、その書名の通り折り紙で、多面体を作ろうという本である。最初のほうは、正四面体を作るのがあり、それが基本である。もっと難しいのになると、聞いたこともないようなデルタ12面体だとか、切頂四面体だとかを作る作り方が載っている。実際に作ってみると、最初のほうは簡単だが、サッカーボールの形なんかは先ず紙の大きさがややこしくて、さらに正五角形を作るのでかなりめんどくさいが、細かい作業が好き人は、手間のかかる120枚の紙を使うような立体を作ってみたら面白いと思う。本を読むだけでなく、実際にするのも面白いので根気がある人は実際に作って、あまり根気のない人は、こんなのが作れるんだなあと思って読めるので面白いと思う。

(西尾祐亮)

起床術

朝起きるのが辛い人、朝気持ち良く起きたいという人。そんな人にオススメな本がこの「起床術」という本である。ほとんどの人は起きられないというのは、単にその人の根性が欠けているだけで、頑張つたらどうにかできると思っているだろうが、この本では、起きられないことは「病気」だとしている。起きられないことは病気という観点から見ているのだ。起きられないことは病気なのだから、当然ほつといて治るもの、あるいは根性でどうにかできるものではない。しかし、病気も適切な治療をすれば治すことができるのだ。自分はどうしても起きられない、というのなら、自分が「起きられない」という病気であると疑って、この本を読んでみるといいだろう。この本を読んで、適切な治療方法を知って、それを実践すれば、誰でも朝すっきりと目覚めることができると思う。

(松本)

編集後記

本年度初の読書三昧いかがだったでしょうか？

本の紹介を始め、本年度の活動レポート、先生へのインタビューなども交えたバラエティーに富んだ作品に仕上げることが出来ました。やはり、図書委員としての最大の役割はこのように紙面を通して読書の大切さ、本の素晴らしさなどを一人でも多くの人に伝え、図書館と生徒とのパイプ役となり、働くことであると思うのです。

ですから、これからも我々一同、切磋琢磨して更なる躍進を目指し活動していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(図書委員一同)



Yメア

河出書房新社
ヴァルター・メアス著



498.3 K

河出書房新社
梶村尚史 監修



754.9 K

日本評論社
川村みゆき著